

令和2年2月27日

公益社団・財団法人 代表者 殿

内閣府大臣官房公益法人行政担当室長

新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえたイベント等の  
開催について（協力依頼）

平素より公益活動の推進に御尽力されていることに敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症への対応に関しては、2月20日に厚生労働大臣からイベントの開催の取扱い等についての考え方が示されており、これについては、内閣府から公益法人の皆様へ周知（2月25日付け）をしているところです。

2月24日の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において、「これから1、2週間が急速な拡大に進むか、収束できるかの瀬戸際」との見解が示され、26日には、政府として、対策の基本方針を決定しております。

その上で、26日には改めて、内閣総理大臣より全国的なイベント等の開催に係る方針が示されました（別紙）。

つきましては、貴法人におかれましては、別紙の内容を御了知の上、各種イベント等の開催に当たって検討の参考としていただきますようお願いいたします。

以 上

令和2年2月26日第14回新型コロナウイルス感染症対策本部  
総理発言内容（イベントの開催に係る発言抜粋）

- 今が正に、感染の流行を早期に終息させるために、極めて重要な時期である。こうした考え方の下、昨日、政府として、対策の基本方針を決定しました。
  
- その中で、イベント等の開催について、現時点で全国一律の自粛要請を行うものではないものの、地域や企業に対し、感染拡大防止の観点から、感染の広がり、会場の状況等を踏まえ、開催の必要性を改めて検討するよう要請したところです。
  
- その上で、政府といたしましては、この1、2週間が感染拡大防止に極めて重要であることを踏まえ、また、多数の方が集まるような全国的なスポーツ、文化イベント等については、大規模な感染リスクがあることを勘案し、今後2週間は、中止、延期又は規模縮小等の対応を要請することといたします。
  
- 感染拡大の防止に万全を期すため、引き続き、今後の感染拡大の動向を注視しながら、万全の対応を行ってまいります。

令和2年2月25日

公益社団・財団法人 代表者 殿

内閣府大臣官房公益法人行政担当室長

新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえたイベント開催の  
取扱い等について（協力依頼）

平素より公益活動の推進に御尽力されていることに敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症については、1月15日に初めての国内発生事例が確認されて以降、国内の感染者（チャーター便帰国者とクルーズ船の乗員・乗客を除く。2月20日時点）は90名を超え、さらには感染経路が特定出来ない可能性のある症例が複数認められる状況です。

こうした中、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（同年2月19日）で議論が行われ、同月20日に厚生労働大臣からイベントの開催の取扱い等についての考え方が、別紙のとおり示されました。

つきましては、貴法人におかれましては、内容を御了知の上、各種イベント開催に当たって検討の参考としていただきますようお願いいたします。

以 上



## イベントの開催に関する国民の皆様へのメッセージ

令和2年2月20日

新型コロナウイルスの感染の拡大を防ぐためには、今が重要な時期であり、国民や事業主の皆様方のご協力をお願いいたします。

最新の感染の発生状況を踏まえると、例えば屋内などで、お互いの距離が十分にとれない状況で一定時間いることが、感染のリスクを高めるとされています。

イベント等の主催者においては、感染拡大の防止という観点から、感染の広がり、会場の状況等を踏まえ、開催の必要性を改めて検討していただくようお願いいたします。なお、イベント等の開催については、現時点で政府として一律の自粛要請を行うものではありません。

また、開催にあたっては、感染機会を減らすための工夫を講じていただきたい。例えば、参加者への手洗いの推奨やアルコール消毒薬の設置、風邪のような症状のある方には参加をしないよう依頼をすることなど、感染拡大の防止に向けた対策の準備をしていただきたい。

国民の皆様においては、風邪のような症状がある場合は、学校や仕事を休み、外出を控えるとともに、手洗いや咳エチケットの徹底など、感染拡大防止につながる行動にご協力をお願いいたします。特に高齢の方や基礎疾患をお持ちの方については、人込みの多いところはできれば避けていただくなど、感染予防に御注意いただくよう、お願いいたします。

そのためには、学校や企業、社会全体における理解に加え、生徒や従業員の方々が休みやすい環境整備が大切であり、テレワークや時差通勤も有効な手段であります。関係の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の今後の感染の広がりや重症度を見ながら適宜見直すこととしています。